

田中 さやか

たなか さやか

品川・生活者ネットワーク 区議会議員



<https://tanakasayaka.seikatsusha.me>



品川・生活者ネットワークニュース No.133 [西部版]
発行：品川・生活者ネットワーク 発行責任者：井上八重子
発行日：2023年1月25日 〒142-0043 品川区二葉1-10-11
TEL03-5751-7105 FAX03-5751-7106
Eメール：shinagawa@seikatsusha.net
<https://shinagawa.seikatsusha.me>

田中 さやか たなか・さやか プロフィール

■ 1982 東京都目黒区生まれ (40 歳)。都立南高等学校 (現都立美原高校) 卒。アパレル会社でアルバイト ■ 2008 長女を出産。東日本大震災を機に原発都民投票の署名集めや放射能から子どもを守る会等に参加、SNS で発信を始める ■ 2012 大飯原発再稼働反対官邸前行動に娘と参加し共同通信に取り上げられる ■ 2015 長男を出産。同年 4 月品川区議会議員に初当選。会派：品川・生活者ネットワーク政調会長として活動開始 ■ 2019 品川区議会議員 2 期目をスタート。総務委員会、文教委員会、議会改革 ICT 推進会議等委員 ■ 2022 会派幹事長
●趣味：写真 (被写体は自然や子どもたち)、読書 ●家族：夫・娘 (中学 2 年) ・息子 (小学 2 年) ・保護猫 2 匹 ●小山在住

子育て・介護 ひとりにしない

2015 年の初当選以来、子育て真っ只中の保護者の一人として、当事者の立場から発言してきました。妊産婦や乳幼児親子支援の「しながわネウボラネットワーク」の改善や、保育の質の向上に向けた調査・提案を粘り強く行い、現在の施策に繋がっています。

保育園や学校、すまいるスクールなどでは、子どものために働く大人が多い一方で、子どもに対する権利侵害が起きている事実もあります。また、高学年から若者に対する施策がおざなりで、メニューが少ないことも大きな課題です。

品川・生活者ネットワークは設立してから 28 年間、継続して、子どもの育ちを支援する「子どもの権利条例」の制定をめざし、子どもの命を守るための権利擁護機関の設置を求めています。昨年末、私の一般質問で区は、ようやく前向きな姿勢を示しました。子ども・若者施策を前進させるチャンスです。

子ども・若者が希望をもって今を生きるまちは、誰にとっても生きやすいやさしいまち！ 人権が守られるまち品川を実現するために 3 期目に挑戦します。

田中 さやか

■品川・生活者ネットワーク田中さやかの活動を紹介します。

田中さやかさんを応援します

三木由希子 NPO 法人情報公開クリアリングハウス理事長

社会の多様性、地域の人々の生活の多様性に対し、議会は多様な人々を代表しているのかが問われています。市民の立場から、社会のひずみに目をむけ、前向きに取り組む生活者ネットワークに期待しています。



山口二郎 法政大学教授 / 立憲デモクラシーの会共同代表

地域から生活者のための政治を実現するネットワーク運動が始まって、40 年以上たちました。政治の世界には挫折や後戻りがありますが、これまでにできたこともたくさんあります。生活不安が広がる今、改めて生活者の政治を実現するために、共に頑張りましょう。



大村 究 羽田問題解決プロジェクト代表

視覚障害者・元参議院議員

一般社団法人生活サポート基金前理事長 / 東京・生活者ネットワーク元都議会議員

東京・生活者ネットワーク都議会議員

元品川区議会議員

元品川区議会議員

元品川区議会議員

品川・生活者ネットワーク代表 / 元品川区議会議員



実現しました!

- 保育の質の確保・向上に向けた研修や点検の導入
- 子どもの育ちを応援する「子どもの権利条例」を求め続け、調査・研究事案となる (2022年12月)
- 子どものいじめ・虐待・生きにくさを見過ごさない!子どもの権利擁護機関の設置を提案し続け、「しくみが必要」との区長答弁を引き出す (2022年12月)
- 学校等に「香害」啓発ポスターの掲示を提案
- 雨水タンク設置が全校に拡大
- 低所得者児童生徒の学習支援が拡充
- DV根絶パネル展示が実現 (人権週間)
- 自死防止対策のSOSカードの配布場所が拡大
- ヤングケアラー支援に、実態把握と職員研修が実現
- 全区立学校に生理用品の継続配布が実現
- まちづくり系の説明会に手話通訳者を配置 (2020年~)
- 聴覚障がい者に向けて、手話通訳タブレットを区役所窓口を設置
- 政務活動費の取支一覧を公開 (2013年度~)
- 議会質問通告者名と発言事項が区議会ホームページで事前公表となる
- 乳幼児同伴傍聴者の託児施設 (親子ルーム) が実現
- 議員個人々の議案表決態度が区議会HP上に公開 (2018年7月~)
- 議案、委員会資料 (PDF) が区議会HPに公開 (2017年2月~)
- 選挙公報の一人当たりのスペースを拡充 (2023年4月~)
- 区ホームページに予算書・決算書の公開が実現 (2021年~)
- 情報公開手数料の無料化



ともに活動しています

品川・生活者ネットワークの区議会議員。左から、田中さやか (2期目)、いながき孝子 (1期目)、吉田ゆみこ (2期目)

みなさまのカンパをお待ちしております

郵便振替口座 00130-9-161299 品川・生活者ネットワーク
 ★1,000円以上のカンパをいただいた方には、東京・生活者ネットワークが発行する生活と政治をつなぐ情報紙: 月刊「生活者通信」を1年間お届けします。

こうした実態を改善するには、区独自の保育士配置基準を設け、保育現場の体制を手厚くすべきです。区全体の保育の質を向上させるためには、公立私立を問わない園同士の情報共有や意見交換の場が必要だと訴えてきました。例えば、「ヒヤリハット」や事故を起こしてしまった時の状況や再発防止策の共有などです。これらを継続提案してきた結果、2018年からようやく区も保育の質の向上に一歩を踏み出したと認識です。子どもが生き生き育つまち品川に! 大人社会の果たすべき責務を自覚し、子どもの権利擁護にまい進してまいります。

品川・生活者ネットワーク 田中さやか の提案 私らしく生きる ための政治

- 生活者ネットワーク3つのルール
- ① 議員は交代制 (ローテーション)
 - ② 議員報酬は市民の政治資金に活かす
 - ③ 選挙はカンパとボランティアの手づくりで

保育の質の向上を! 子どもが生き活きと 育ちゆくまち品川に

2022年品川区議会第4回定例会本会議場で質問に立つ区議会議員の田中さやか。子どもの参加と意見表明が保障されるまちづくりをめざして、「子どもの権利条例」制定の必要を提起。2022年12月20日



1. 子ども・若者の未来を拓く品川へ

- 子どもの育ちを応援する子どもの権利条例を制定する
- 子どもの相談・救済・回復をサポートする権利擁護機関を設置する
- 子ども・若者議会を実現し、子ども・若者の声を政策に反映する
- 保育の質を高め、かけがえのない「子どもの時間」をまもる
- 学校給食は完全無償化し、夏休み給食デー・オーガニック給食デーをつくる

2. 高齢になっても障がいがあっても、誰もが暮らしやすいまち

- ケアする人もされる人も大切にする「ケアラー支援条例」をつくる
- 合理的配慮を踏まえた「障がい児・者差別禁止条例」を制定する
- 医療・介護・障がい福祉をつなぐ横断型の相談体制をつくる
- 困窮者支援のワンストップ相談窓口と伴奏型支援を拡充する
- 地域包括ケアの拠点を整備・拡充し、世代を越えて在宅生活を支えるしくみをつくる

3. 私が私のままでいられるジェンダー平等社会へ

- ジェンダーの視点で政策を見直す! 包括的性教育 (人権教育) を進める
- 女性の人権を守る! 被害の救済・支援のしくみを整える
- 女性も男性も生活者! とともに子育てできる環境を整える

4. いのちをつなぐ環境優先のまち

- 原発ゼロ・ストップ地球温暖化! 省エネ・再エネ 100%のまちを市民とともにめざす
- 食の安全確保は公給食から! 遺伝子組み換え食品・ゲノム編集食品は使わない
- 健康と生命、住環境を脅かす羽田新飛行ルートは撤回! リニア中央新幹線はいらない!
- 福祉の視点で地域防災のしくみを見直し、女性の参画を増やす

5. 情報公開を進め市民が自治するまちをつくる

- 無作為抽出の市民ワークショップを政策立案に取り入れる
- 小中高校を通じて、シチズンシップ教育や労働・消費者教育を充実させる
- 公共施設の新設・建替えや都市計画道路の見直しは市民参画で!
- 参加と協働を実践する「自治基本条例」をつくる